学力を以て社会に貢献する人材の育成

KEIMEIKAN

Guidance Book 2027

sanaru GROUP

啓明館

難関中学受験名門

私たちは

こだわります。

難関中学受験の

名門塾として。

CONTENTS

教師へのこだわり

授業へのこだわり

家庭学習へのこだわり

学習指導へのこだわり

教材へのこだわり

探究学習へのこだわり

学年別カリキュラム

安心へのこだわり

啓明館の目指すもの

AIに代表される情報技術の飛躍的な発展に伴い、社会構造や私たちの生活は急速に変化しています。AIが身近な存在となり、さまざまな知識や情報を容易に得られる時代だからこそ、教育の分野では、知識を身につけるだけでなく、自ら考え、判断し、課題を解決する力を育むことがますます重要になっています。こうした時代の変化に柔軟に対応し、一人ひとりの個性や可能性を伸ばすことのできる私立中高一貫校への期待は高まっており、中学受験に向けた準備も低年齢化する傾向にあります。

一方で、我が子により良い教育環境を与えたいという保護者の思いはいつの時代も変わりません。私たちもその思いに応えるために、「塾生全員第一志望合格」を目標として受験指導を続けてきました。

ただ私たちは、学校や生徒を「偏差値」によって輪切りにし、「格付け」をすることで競争原理をあおる教育が小学生にふさわしいとは思いません。何よりも大切なのは「学ぶことの楽しさ」を知り、「自ら学ぶ」姿勢を身につけること。そしてさまざまな達成感や失敗の経験値を積み重ねることを通して、困難な壁に立ち向かい、夢に向かって挑戦する強い心を育てていくことではないでしょうか。

ですから、啓明館の「入学テスト」で求められるのは算数・国語の基礎学力と本気で啓明館で学びたいという意欲だけです。成績が優秀な子を特待生として特別扱いすることは一切ありません。啓明館で学ぶ子どもたちは、学習の経験値も成績もさまざまです。

それでも塾生たちが毎年難関校・人気校に進学し、周りが「ミラクル」と驚くような合格を果たすケースさえ少なくないのは、啓明館が「学ぶ」存在として自立するための「道場」だからです。

中学受験は、子どもたちにとっては厳しい試練です。だからこそ、私たちは子どもたちをたくましく鍛えるために、日々最高の教材を作り、最高の授業を追求しています。そして教師全員がプロとしての自覚と誇りをもって、ときには励まし、ときには厳しい言葉もかけながら、学力を伸ばし、志望校に合格させるために、全力で子どもたちと向き合っています。

また私たちは、子どもたちが周りの人々とのかかわりを、試練を乗り越えるための力に昇華させていけるよう、「心」の指導も怠りません。

ときに「ミラクル」が生まれるのはきっと、ともに切磋琢磨し「みんなで合格しよう」と誓い合える仲間がいたから。家族がずっと応援し続けてくれたから。最後まで諦めなかったから。自分を支え、応援してくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れることなく、最後まで走り続けた子どもたちは、すでに成長へのステップを大きく踏み出しています。それが「ミラクル」の正体なのです。

卒業生の保護者の方からは、通塾生活をふりかえって**「一度も塾通いをいやがらなかった」「我が子にとって一番大切な居場所だった」「啓明館は第二の家」**といったことばを多くいただきます。子どもたちが啓明館の授業を大好きで、「学ぶ」ことに夢中だったことの証であるこうしたことばは、合格実績よりも何よりも、私たちの誇りとなっています。

私たちは、子どもたちが力強いはばたきとともに新たな学びの場に向かって巣立ち、さらに自分を磨いて生きていくことを願ってやみません。

子どもたちの成長を促し、見守り、やがて彼らが「学力を以て社会に貢献する人材」へと育っていくことこそが、啓明館の社会的使命であり、私たちにとっての一番の喜びなのです。

Keimeikan Quality 01

教師へのこだわり

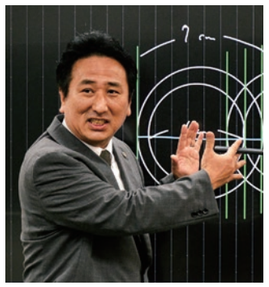
全員が中学受験のプロフェッショナル
プロ教師の「チーム力」で志望校合格をつかみとります

中学入試の問題は学校ごとに難易度も出題傾向も答案形式も千差万別。
しかも毎年変化し続けています。
他方、小学校中〜高学年は、感受性と可塑性に富み、知的・身体的そして心理的に
大きく成長していく時期でもあります。

学校の校風や教育理念と、生徒の性格や保護者の希望。
入試問題の傾向と、生徒の学力特性とこの先の「伸び目」。
それらの「最適なマッチング」を行うために、
啓明館では室長と４教科担当教師が連携して合格までの道のりをトータルサポートします。

毎年多くの学校説明会に足を運び、入試問題を分析してきた室長と４教科を担当する
プロ教師がチームを組み、生徒の性格と成績推移を見守り続け、
「模試偏差値」に囚われることなく、
一人ひとりの性格や学力と、校風や出題傾向との「適性」を見抜き、
結果的に「本当にこの学校に入学してよかった」「大変だったけど受験してよかった」
と思っていただける受験指導を進めます。

いつでも、どんなことでも相談できる受験指導チームが、生徒の皆さんを指導し、見守り続けて
いきます。




Keimeikan Quality 02

授業へのこだわり

一期一会　授業は子どもたちとの真剣勝負の場

私たちが「プロ教師」にこだわるもうひとつの理由は、対面・集団指導の授業こそが小学生の指導において最も効果的だからです。

クラスはテスト結果によって定期的に移動します。同じ到達度の生徒を対象とすることで、授業の進度や深度を効率よく調整できるのは言うまでもありません。とはいえクラスは４教科の総合点で決められるため、同じクラス内でも定着度には差があります。そこで、一方では基本事項をしっかりと確認しながら、その教科を得意としている子が退屈しないように深い内容にも踏み込んでいく必要があります。

また教師が一方的に説明をするのではなく、子どもたちに問いかけ、ユニークな発想や意見、新しい発見を引き出していく。子どもたちもまた、そうした仲間たちの発言や着想や失敗からも多くのことを学んでいきます。

単に事項の解説をするだけならば、私たちの仕事は近い将来AI搭載のロボットに取って代わられるでしょう。しかし教師と生徒、生徒と生徒がお互いに刺激しあいながら、活気にあふれ、生徒全員が参加できる最高の授業をしていくことができるのは、人間のプロ教師だけ。それを毎時間実現するために、日々研鑽に励んでいます。



教育の最先端を行く　視覚で直観理解させる次世代の授業システム“See-be”。

See-be（シービー）
Seeing is believing!
企画・制作 SANARU / 制作協力 NHKエデュケーショナル



Seeing is believing.（百聞は一見に如かず）

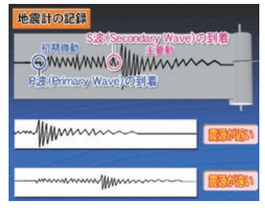
啓明館の授業は、ホワイトボードが大画面スクリーンとなり、See-beコンテンツ（マルチメディア教材）が投影されて進められます。

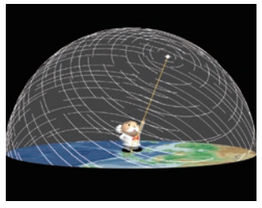
See-beコンテンツには、NHKエデュケーショナルの協力を得て、NHKアーカイブスの豊富な資料映像のほか、世界中の大学や博物館など、各種研究機関から提供された貴重な動画資料が満載。教師は、生徒の理解を深めるため、あるいは興味・関心を引き出すため、必要な資料素材を選択して、説明を加えながら最適なタイミングで再生します。

言葉や写真などでは伝えきれない微妙なニュアンスも、また模式図で説明される抽象的な概念も、映像化された資料で瞬時に直観理解。コンピュータならではの綺麗で正確な図版、図形認識や書き込みの自動保存などの機能を備えた板書とあわせて、生徒の頭脳に正しいイメージを伝え、理解を促します。

美しくわかりやすいイラスト

手書きの板書や白黒印刷の資料では実現不可能な、美しくかつ正確でわかりやすいイラスト資料。アニメーションも併用されており、生徒のスピーディな理解を助けます。





動画や映像による資料

歴史的映像、再現ドラマ、超高速度・超微速度撮影映像、顕微鏡動画、危険が伴う実験の映像、さまざまな研究所や博物館所蔵の映像など、貴重な資料を教室にいながら視聴できます。





教師の操作で動く実験シミュレーション

教師が画面を操作し、その場で結果を見せる実験シミュレーション。抽象的な概念の具体化や、連動して変化する要素のあるグラフなども、視覚的に説明することができます。





Keimeikan Quality 03

家庭学習へのこだわり

「予習主義?」それとも「復習主義?」

説明会で「啓明館はどちらですか?」とよく尋ねられますが、私たちは予習も復習も大切だと考えます。予習は授業をよりよく理解するため、復習は授業内容を定着させるためのものなので、啓明館は強いて言えば「授業中心主義」といえます。そして「授業」をよりよく理解するために、家庭での学習をどのようにしていくかが大変重要になるのです。

学年と定着度、および教科によって予習・復習のバランスが異なりますし、何よりも肝心なのは「家庭学習の習慣をつけていくこと」「家庭学習を親任せにしないこと」「できるだけ短い時間で効率よく家庭学習ができるようにすること」なのです。膨大な量の宿題を親が教えたり家庭教師に依頼したりしなければならないとしたら、それは塾のなすべきことを家庭に丸投げしているだけに過ぎず、本末転倒と言わざるをえません。

家庭学習を親任せにしない　自分で勉強できる子を育てる

授業における最強ツールが「See-be」なら、家庭学習における最強のお助けツールが「ヴィーナレット」。啓明館本科コース生全員に貸与されるオリジナルのタブレットです。

使用頻度が高いのは「映像視聴」。算数の「予習のページ」と「復習のページ」の重要問題すべての解説映像が視聴できます。家庭学習で一番時間がかかるのが算数。基本解法を学ぶ予習と、その単元の最重要問題の復習、その両方について啓明館プロ教師の解法を、解説映像で繰り返し学習することができます。

ヴィーナレットを活用すれば、生徒が保護者の手助けなしで効果的に自宅学習を進められます。

計算や語彙力から最難関の入試問題まで

ヴィーナレットには、「語彙の学習」「名作の読み聞かせ」「暗算の練習」など、ユニークなキャラクターと一緒に楽しく学習できるコンテンツや、日本地図やプログラミングの基礎を学べる学習ゲームなど、2・3年生から楽しみながら学べる機能が用意されています。

保護者の手を借りなくても、自分で、自分のために勉強できる子を育てていくための最強学習支援ツールとして、ヴィーナレットはこれからも日々進化を続けていきます。





啓明館流タブレット　ヴィーナレット



最新のICTが家庭学習をフォロー

ヴィーナレットは、真の学力向上に必要なシステムをオリジナルに開発。解説動画の視聴、スケジュール管理、各種学習システムを利用することで、生徒の学習効率が飛躍的に向上します。

啓明館の「啓明」とは夜明け前、東の空に輝く「明けの明星」=金星のこと。ヴィーナレットは「啓明=金星=Venus」と「Tablet」を組み合わせた造語です。

メモリーマーカー

重要語句の暗記と定着をスピーディに

重要語句を隠したり表示したりしながら学習できる機能。理科の模式図や社会の地図など、“視覚を使って暗記する”単元の学習に適しています。テキストや参考書、ノートなどを撮影し、取り込むこともできます。



学習ゲーム

暗記学習や計算力アップをもっと楽しく

ヴィーナレットの「学習ゲーム」は続々とリリースされています。盛りだくさんのオリジナル学習コンテンツで楽しみながら、効率よく暗記学習や計算練習に取り組めます。



KM Vision

予習もバッチリ！

通常授業と各期講習すべてのキー&マップ・ノートの「例題」と「類題」（算数および理科の計算分野）の解説動画を何度でも無料で視聴することができます。

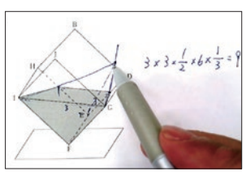


解説カメラ

復習もしっかり！

教材の二次元バーコードを読み取ると自動的に再生される解説動画は、式やグラフを書く教師の手元をアップにした「手元カメラ」。

自宅でも教師が隣で解説しているような臨場感で家庭学習をサポートします。



Keimeikan Quality 04

学習指導へのこだわり

学年通塾日数とテストについて

受験勉強は基本的に早めに開始したほうが有利ですが、最適な通塾日数やテストの実施リズムは、子どもの成長段階と学習内容の重さに応じて異なります。

ただ単に、通塾日数や授業時間を増やしていくのではなく、「楽しい」から始まり、次第に「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という向上心を目覚めさせ、最後は「志望校合格」という目標に向けて全力で取り組む。じっくりと、一歩ずつ、子どもたちの人間的な成長と合格に必要な学力を身につけさせるのが私たちの指導方針なのです。

2・3年生

週1日の授業。テストは2年生が年に2回、3年生が年に4回。クラス替えも行いません。早期からのテスト漬けや成績による序列化は、よい点数をとるために親に教えてもらう依存心の強い子どもを育ててしまう危険性があるからです。

算数は計算力と思考力、国語は読む力とことば・漢字という基礎学力を中心に、ゲームや読み聞かせなどを交えて、「学ぶ楽しさ」を自然に身につけさせていきます。

2年	週1日授業 2教科（算・国）	・学力コンクール 年2回・2教科
3年		・学力コンクール 年4回・2教科

4年生・5年生前期

4年前期（2〜7月）からいよいよ週3日・4教科の学習が始まりますが、2〜3月は「オリエンテーション期間」として算数・国語は3年時までの復習を行います。

3〜7月のテストは月1回。まずは授業をしっかり聞き、家庭学習と授業の流れに慣れることが大切です。テストの成否に振り回されず、楽しくじっくりと学びをスタートさせます。

4年後期（9〜翌1月）から始まる隔週テストは日曜日に実施。テストの結果や答案はオンラインで確認でき、成績だけでなく、各問題の正答率なども確認できます。復習週の授業では、未定着部分の復習や発展内容の学習に加え、各教科の教師が必要に応じてテストへの取り組み方についてもコーチングします。こうして5年前期までに、2週間の学習サイクル・テストへの取り組み方と復習の仕方を身につけさせます。

4年	前期	週3日授業 4教科 （算・国・理・社）	・ナビゲーション模試 月1回・4教科 （3・4月2教科） ※2月は実施なし
	後期		・隔週テスト 月1〜2回・4教科 ・ナビゲーション模試 月1回・4教科 ※実施のない月もあり
5年	前期	週3日授業 4教科 （算・国・理・社）	

■隔週テスト

隔週テストは2週間1タームの総仕上げに行うカリキュラムテスト。学習内容の到達度をチェックするとともに、苦手単元や解答傾向などを分析します。　※4年後期よりスタート

■ナビゲーション模試

ナビゲーション模試は、隔週テスト2回分の範囲から出題されるまとめテスト。発展的な内容を含む問題が出題されます。

※4年・3月よりリスタート　※4年・3〜9月は1カ月の範囲から出題

5年生後期・6年生

5年後期〜6年前期も、隔週テスト・隔週テスト・ナビゲーション模試という流れ（2-2-1システム）は変わりません。また、対外模試にもチャレンジしていきます。

6年4月からは「日曜特訓」がスタート。既習範囲の徹底的な復習と総合実践演習を行います。

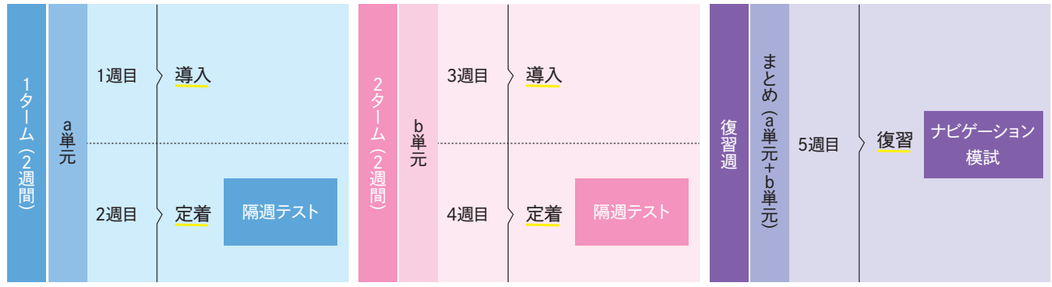
9月以降は、合格判定模試や対外模試を複数回受験し、その分析結果から、より志望校に近づく学習を進めていきます。

5年	後期	週3日授業 4教科 （算・国・理・社）	・隔週テスト ・ナビゲーション模試 月1〜2回・4教科 ・対外模試 年1回・4教科
6年	前期	・週3日授業 4教科 （算・国・理・社） ・日曜特訓 ・算数必修講座	・隔週テスト ・ナビゲーション模試 月1〜2回・4教科 ※実施のない月もあり
	後期		・隔週テスト ・合格判定模試 ・対外模試 月1〜2回・4教科 （12月まで実施）

啓明館だけの2週間1ターム制と5週間1サイクル

1週間単位では慌ただしい。1カ月単位では間延びしてしまう。だから啓明館は、単元の導入から定着まで2週間1タームのサイクルでカリキュラムを組み、5週目には、総合回として前2ターム分の復習を行い、理解の漏れをなくします。単元の学習・まとめ・繰り返しを行いながら、合格に必要な学力を無理なく着実に身につけていきます。

2週間1ターム制＆5週間1サイクル制



※4年前期までは隔週テストがなく、4週間ごとにナビゲーション模試が実施されます。　※6年後期からは復習週がなくなります。





2週間1ターム制と5週間1サイクルのメリット

01／学習の定着度や単元の難易度にあわせた授業展開

タームの1週目は新しい単元の導入・解説によって知識の習得をねらいます。2週目は生徒の理解度に応じて発展内容の学習や徹底的な基礎の定着をねらった授業を展開します。

プロの教師の目でクラス全体を見渡し指導を行うことで、学力を着実に向上させます。

02／学習しやすいスモールステップのカリキュラムと隔週テスト

2週間の学習内容は浅すぎず、広すぎない、適度なボリューム。

隔週テストは努力が結果に結びつきやすく、失敗してもナビゲーション模試で挽回の機会が訪れる。だから子どもたちの学習意欲を持続させることができます。

03／5週目は2単元の総復習と応用力の育成

2タームを消化した後の5週目に、キー&マップ・ノートなどの教材を使って徹底的な復習が行われ、2ターム分の知識を整理します。その成果を週末に実施されるナビゲーション模試ではかります。発展的な問題も出題されますので、2ターム分の学習の定着度だけでなく、応用力も試されることになります。子どもたちにとってはやがて来る入試本番への実戦練習にもなる絶好の機会です。

Keimeikan Quality 05

教材へのこだわり

「教材は現場の教師が作るもの」――私たちは常々そう考えてきました。1教場しかない塾が、独自カリキュラムに基づき、オリジナルのテキストを作り、自前のテストを運営する。いま思えば「若気の至り」としか思えない設立当時からの試みがいまの啓明館の礎となっています。

現在はテキストの多くが全国の書店で販売され、教材ラインナップを整備し、模試処理システムを運営するために、啓明館生え抜きのスタッフが教材作成に従事しています。常に教材作成会議を開き、「教壇に立つ教師」の視点で、中学受験における最新の問題傾向を分析し、最高の教材を提供し続けています。



通年用教材　「秘伝」「読解」「教養」「紡ぐ」シリーズ！

中学受験に必要な考え方や知識、要点が教科別に分かりやすく整理された受験のバイブルです。

算数

『秘伝の算数』は、長年の指導経験のすべてが盛り込まれた、受験算数のバイブルです。入門編・応用編は数や図形の基本的なとらえ方から「算数マニアのためのコラム」まで、また発展編には最難関校の入試問題を解きこなすための門外不出の解法が満載です。



国語

中学入試の頻出作品から一度は読んでおきたい古典的作品、現代の名作まで、選び抜かれた素材と適切な設問が満載。文章を読み解くためのポイント、記述答案を作るためのアドバイスが盛り込まれた使いやすいテキストです。『読解』シリーズの他に『知識』『漢字』のテキストも用意されています。



理科

『新しい教養のための理科』は、中学受験用参考書の最高傑作。身近な興味・関心から説き起こし、中学・高校で学習する高度な内容までを扱っています。読み物としても楽しく、写真や図版がふんだんに盛り込まれた理科図鑑としても活用できるテキストです。



社会

『日本の地理』『日本の歴史』『現代社会』は、わかりやすい文体と豊富な資料に加えて、「へぇ〜っ」と膝を打つうんちくで、誰もが社会好きになる珠玉の参考書。どれも事実の羅列だけでなく、興味・関心をかき立てるよう「なぜ?」にこだわったテキストです。



授業用教材　予習・授業・復習で使うオールインワン「キー＆マップ・ノート」

「5週間1サイクル」で進行するカリキュラム。
その「1サイクル（5週間分）」の学習内容を1冊にまとめたのが「キー&マップ・ノート」です。

スケジュール・目次



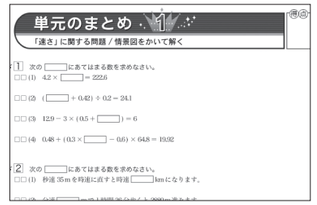
今日の単元はどこ？　次回はどんな勉強をするの？
学習の流れなどが一目でわかるページです。

予習のページ



各単元で最も重要な問題の解説。授業でも扱います。解説にしたがって解法をマスターしましょう。

単元のまとめ



過年度の隔週テスト。テスト対策のために時間をはかって取り組みましょう。

算数

基本から応用まで、学力に応じて使える

基本事項の復習だけでなく、メインテキストである『秘伝の算数』の例題をわかりやすく解説し、その類題までを掲載した「予習のページ」。授業内容を定着させ、さらに発展的な問題にチャレンジするための「練習問題」。
隔週テスト対策の「単元のまとめ」。その他にも「計算一行Diary」「基本のドリル」「復習のページ」「実力判定問題」など基本から実戦レベルまでの問題が収録されています。



国語

これ1冊で「解答力」を鍛える！

知識の練習問題と読解問題を収録。記述問題には書き直し用のらんも設けてあります。「単元のまとめ」「実力判定問題」は解答用紙が別に設けられているので、本番さながらの演習にも取り組めます。
※漢字の学習は別冊の「漢字ダイアリー」にて行います。



理科

調べて、覚えて、「わかる」理科

文中や図・表の中の空らんをうめ、授業中の解説や板書内容を書き留めることで、自分だけの参考書ができあがります。知的好奇心を刺激する問題からテスト対策の問題まで幅広く扱っています。



社会

知識を確実に定着させるワーク&チェック

歴史では時代の「流れ」を理解するための「年表」に、地理では白地図などに重要事項を書き込み、マーカーで色分けすれば、日本の地名・地形がしっかりまとまります。豊富な資料や図版が載っているため、問題演習はもちろん復習にも適しています。



Keimeikan Quality 06

探究学習へのこだわり

「なぜ?」から始まる、未来の学び
ワクワク体験で育む「楽しむ力=楽力」が
本物の学力につながります

「どうして空は青いんだろう?」「地図の線にはどんな意味があるの?」
子どもたちの日常は、「なんで?」「どうして?」という疑問と好奇心にあふれています。啓明館では、この自然な好奇心こそが、すべての学びの出発点だと考えています。身近な不思議に目を向け、自ら問いを立て、考え、確かめる―。そんな探究のプロセスを通して、子どもたちは「知ること」「学ぶこと」の楽しさを発見していきます。私たちが「楽しむ力=楽力」と呼ぶこの力は、学び続ける原動力となり、将来にわたって自ら伸び続ける「本物の学力」の源になります。

近年の中学入試では、知識を覚えるだけでなく、与えられた情報をもとに考え、分析し、自分の言葉で論理的に表現する力がますます求められています。啓明館では、志望校合格に向けた学習そのものを、子どもたちの知的好奇心を広げ、豊かな学びへとつなげる機会と捉えています。「知りたい」「なぜだろう」という気持ちを出発点に、自ら考え、学び、深めていく。その積み重ねが、受験の先の未来にもつながる力になる―。だからこそ啓明館は、探究学習を大切な学びの一つとして実践しています。

オンライン×リアルの体験で
学ぶ楽しさの扉を開く通年講座（小１～小４対象）

たんきゅうコース

自宅で学ぶオンライン講座

月２回授業

・「決められた曜日・時間帯で学ぶ」学習習慣が身につきます

・授業テーマは「ことば」「地図」「おりがみ」「水」など低学年のお子さまにも身近なものが中心です



啓明館の教室でリアル体験

年４回実施

たんきゅうラボ

・啓明館の教室で学習イベント形式で実施します

・中学受験の必須単元だけでなく買い物など生活に密着したテーマで楽しく学びます

通年コースのサイクルが生む「知る喜び」が主体的な学習姿勢の源に



・月2回 | オンライン講座（1回50分・自宅で受講）

親しみやすいアバター先生やリアル教師によるオンライン授業で、身近な自然現象や社会の仕組みをテーマに、「なぜ?」を深掘りします。授業内のミッションに挑戦しながら、自ら考え、発見する楽しさを広げます。

・年4回 | たんきゅうラボ（1回60分・対面実施）

普段は画面越しに学ぶ仲間や教師と教室に集まり、実験やワークに挑戦します。実際に手を動かし、試行錯誤しながら、ときには仲間と協力して課題を解決。五感を使って学ぶ「実感」と「感動」を味わいます。

オンライン講座のラインアップ例　2026年度の一部抜粋です

●おりがみを切ってみよう! ●数・形のふしぎをたんきゅうしよう! ●タイルを数えよう!	●ことばは音と感覚でできている? ●なぜ、その言葉でそう感じるのか? ●なぞとき!たんきゅうミッション 〜言葉・数・形 入門	●空気や水の実験 ●たんきゅう特別理科 〜星やうちゅうをたんきゅうしよう! ●電気やじしゃくの実験	●地図探偵団 写真から場所を探せ ●たんきゅう思考力 〜地図の道じゅんをプログラムしよう ●おもしろい!を探そう 情報・社会技術

たんきゅうラボ 2026年度の実施例

●表面張力で遊ぼう! ●光の万華鏡をつくろう!	●ミッション発動! おつかいで探究しよう① 〜かいものを通して 経済の世界に触れてみよう〜	●地形がわかる! 等高線のふしぎ ●ふるさと富士の「富士山度」を調べてみよう	●ミッション発動! おつかいで探究しよう② 〜かいものを通して 経済の世界に触れてみよう〜

探究的な学びが４教科の確かな土台に



「なんでそうなるの?」「どうすればもっと解きやすい?」という疑問をもとに、自分の考えを図や式で表しながら、筋道立てて考える力を育てます。演習だけで終わらない、探究的な思考の過程を楽しむ算数の授業を行います。



物語や説明文の読み取りだけでなく、自分の思いや考えを言葉にして伝え合うことが、国語における探究の入口です。言葉を使って問いを立て、深め、広げていく体験が、思考力・表現力の土台をつくっていきます。



子どもたちは生活の中で感じたことを手がかりに、自分なりの答えをもっています。理科では、その答えを出発点にし、授業を通して「なぜそうなるのか」を自ら考え、科学的に理解する力を育てます。



身近な地域や暮らしへの素朴な疑問を出発点に、「なぜそうなのか」を自ら調べ、人や社会のしくみを理解する力を育てます。「学び」と「地域・社会」がつながる経験によって、探究の芽を伸ばします。







小2生

「よく学び、よく遊ぶ」頭で汗をかくよろこびに目覚めさせる

学習のポイント

算数

前期は、小学2年の学習単元（3けたまでのたし算・ひき算とかけ算の九九）を中心に、「頭のなかでくふうして解く楽しさ」（暗算力）を養い、後期は、前期の復習と並行して、小学3年の学習単元に進んでいきます。
ただし、決して単なる先取り学習ではなく、数や図形の感覚を培うゲームを使ったり、マッチ棒や折り紙で図形を作ったりしながら、「頭で汗をかく」楽しさを伝えていきます。

国語

はじめは多くの文章を「読み」、それを基に「考え」・「書く」ことで、文章読解の基礎へと導きます。それとともに、漢字を中心に、「言葉」への興味を引き出し、「言葉」を増やしていきます。
そして「昔話」「神話」、「動物」や「植物」の説明文などを通して、知的関心を持たせることを主眼にし、子どもたちの世界を広げます。また、読書の楽しさを知ることで子どもたちに読書の習慣がつくようにも指導していきます。

授業回数

教科	授業回数
算数	週1回
国語	週1回

※8月は夏期講習のため週回数が変わります。

カリキュラム	2月	3月	4月	5月	6月	7月
算数	●ひょう・グラフと時間 ●2けたの数のたし算とひき算	●たし算・ひき算のひみつ ●□の中はいくつだろう	●長さ ●1000までの数 ●かさ ●3けたの数のたし算とひき算		●かけ算 ●1万までの数	
国語	●物語を読む「登場人物をとらえる」「出来事・場面をとらえる」 ●漢字の成り立ち・筆順・画数	●身近なお話 ●知的なお話	●説明文を読む「時間・手順をとらえる」「順序をとらえる」 ●かなづかい　指す言葉・つなぐ言葉 ●物語を読む「場面の様子をとらえる」「気持ちをとらえる」 ●漢字の読み方 ●送りがな・いろいろな意味をもつ漢字		●詩を読む「リズムをとらえる」 ●説明文を読む「段落のまとまりをとらえる」 ●文節　主語・述語	
	2年前期	春期講習	2年前期			

カリキュラム	8月	9月	10月	11月	12月	1月
算数	●長い長さ ●三角形と四角形 ●いろいろなもんだい（図をつかった考え方） ●たし算とひき算のルール ●九九で遊ぼう ●すいりせよ		●はこの形 ●分数 ●3けたや4けたの数のたし算・ひき算		●（2けたの数）÷（1けたの数）のわり算 ●1けたの数をかけるかけ算 ●数のふしぎ ●すいりの達人	
国語	●物語を読む「日本の昔話」「日本の神話・伝承」 ●形の似ている漢字 ●同じ部分をもつ漢字 ●物語に親しむ ●他人の考えをまとめる		●説明文を読む「事実を読み取る（動物）」「事実を読み取る（植物）」 ●熟語　同じ読み方の漢字 ●物語を読む「場面の変化をとらえる」「気持ちの変化をとらえる」 ●かたかなで書く言葉　音や様子を表す言葉 ●似た意味の言葉　反対の意味の言葉		●詩を読む「表現の特色をとらえる」 ●説明文を読む「事実を読み取る（地球・宇宙）」 ●修飾語　原稿用紙の使い方 ●詩にふれる ●物語にふれる	
	夏期講習		2年後期			冬期講習

次学年学習スタート　2月～（3年前期）

実施テスト概要

▶学力コンクール　前期1回・後期1回

科目	配点（時間）
算数	100点（25分）
国語	100点（25分）



小3生

「知る」「考える」の楽しさを味わい、「学ぶ」ことへの興味を培う

学習のポイント

算数

3年生は「学ぶことの楽しさ」と「正しい学習習慣」を学ぶ時期です。
基本的に5週間で「計算」「文章題」「図形」「パズル」「まとめ」の1クールをサーキットトレーニングのように消化することによって、正しい「学習リズム」を作ると同時に、暗算ゲームや図形パズル、対戦ゲームを取り入れることで、楽しく数と図形と論理について学んでいきます。

国語

文章を読むために持っていなければならない常識や知識をふんだんに織りまぜながら、与えられた文章を切り口としつつ、話題を広げていく“語り”の授業を展開します。説明文の内容が読み取れないのは、その話題が子どもにとって関わりの無かった世界だからであり、物語文の展開が理解できないのは、これまで経験したことのない心情が描かれているからです。“語り”の授業の中で、さまざまな世界・心情を疑似体験させることこそ、3年生に必要なのです。

授業回数

教科	授業回数
算数	週1回
国語	週1回

※8月は夏期講習のため週回数が変わります。

カリキュラム	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
算数	●たし算・ひき算と文章題 ●長方形と正方形 ●カードを並べてみよう ●かけ算（×1けた）と文章題 ●図形の個数を数えよう ●数を推理してみよう	●数の世界 ●数になれよう		●わり算（九九の範囲）と文章題 ●折り紙を折ってみよう ●時間と時刻の計算 ●分数と文章題 ●円を描いてみよう ●旅行予定表を作ろう			●これで君も名探偵 ●かくされた数を発見せよ ●折って、切る！ ●数を分解しよう ●かけ算を見直そう ●サイコロで遊ぼう
国語	●説明文「なにが書いてあるの?」「かたまりでとらえる」「事実と意見」 ●五十音図　かなづかい　国語辞典 ●物語「場面のうつりかわり」「登場人物の気持ち」「登場人物の性格」 ●漢字の成り立ち　漢字の部首	●大正・昭和の名作を読む ●ことばへのいざない		●詩「リズムをつかむ」「技法をつかむ」 ●随筆「心をことばに」 ●漢字の音訓　画数　筆順　漢和辞典 ●説明文「大事なことは?」「背景をよみとる」「伝記を読もう」 ●主語と述語　修飾語			●自然科学に触れる ●日本の神話を読む ●物語に親しむ ●環境論を読む ●人の心をのぞく ●物語の奥深さに触れる
	3年前期	春期講習		3年前期			夏期講習

カリキュラム	9月	10月	11月	12月	1月
算数	●わり算（÷1けた）と文章題 ●三角形と角度 ●表にまとめてみよう ●かけ算（×2けた）と文章題 ●立方体と直方体 ●グラフにまとめてみよう		●大きな数とその利用 ●小数とその利用 ●サイコロで遊ぼう ●長さや重さの単位 ●計算のきまりと□を使った式 ●平面図形のパズル ●きまりを見つけよう		●数のふしぎな世界 ●図形のふしぎな世界 ●論理の糸をたぐりよせる
国語	●説明文「身のまわりのふしぎ」「ことばのふしぎ」「自然のふしぎ」 ●熟語の成り立ち　同類語　反対語 ●物語「日本の民話」「世界の民話」「戦争の話」 ●ことわざ　慣用句		●詩「心をふくらませて」 ●説明文「文章を正確に読みとる」「意見を考えながら読む」 ●三字熟語　四字熟語 ●物語「文章をもとに推理しよう」「登場人物の行動を予想しよう」 ●随筆「思いを読みとく」 ●主語と述語　品詞　敬語		●詩を味わう～ことばとリズム～ ●物語文にふれる～現代の作品を読む～ ●説明文で考える～自然の世界について～
	3年後期				冬期講習

次学年学習スタート　2月～（4年前期）

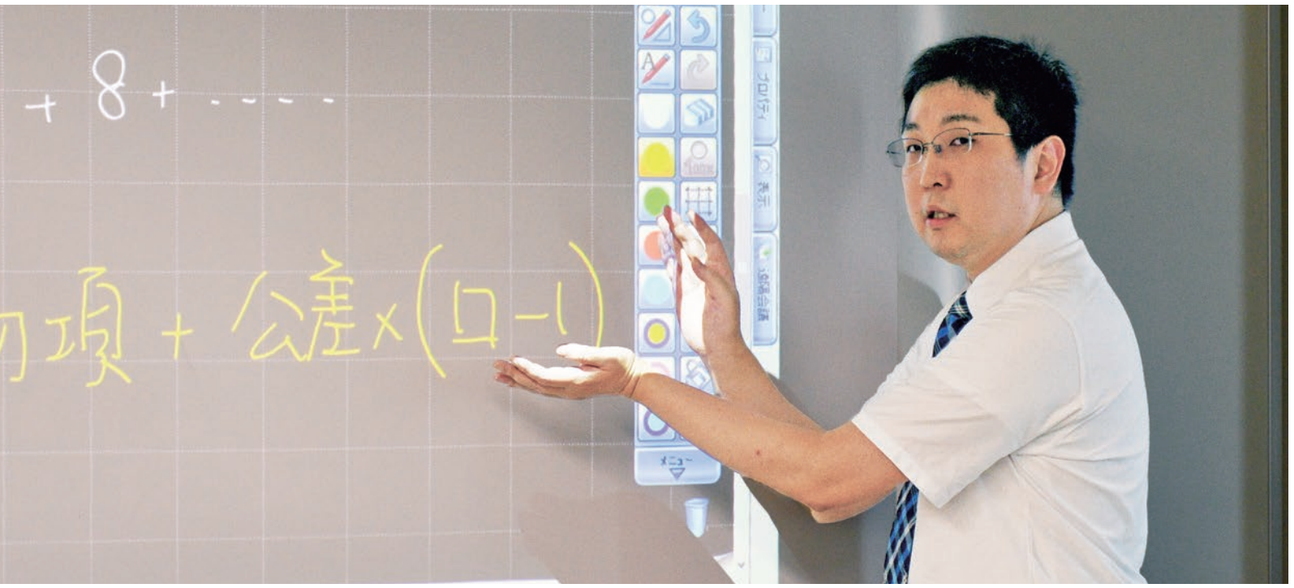
実施テスト概要

▶学力コンクール　前期2回・後期2回

科目	配点（時間）
算数	100点（40分）
国語	100点（40分）

小4生

問題の本質を見極める眼を養い、論理的思考習慣を身につける



学習のポイント

算数
算数の学習において重要なのは、問題に興味を持って取り組めるかどうかです。4年生なりの解き方で入試レベルの問題にチャレンジし、試行錯誤を繰り返しながら、問題の内容を掘り下げながら問題への執着心・探求心を養っていきます。

国語
文章を素材として「話題を広げていく」ことを心がけ、“語り”の授業の中で、様々な世界の心情を疑似体験させます。もちろん、言葉の意味や使い方、漢字などの知識分野もしっかり学習します。

理科
理科の力をつけるには、まず身の回りの科学現象に対する興味を深め、自分の頭で「なぜそうなるのか」を考えること。「丸暗記で高得点をめざす」授業ではなく、See-be(シー・ビー)を駆使し、多彩な科学の世界への興味を深めます。

社会
ただ知識を詰め込むのではなく、たとえば、農業の学習であっても、時には地域の歴史・文化にまで触れたりしながら、汎用性のある学習を展開。この学年で、社会学習における骨子が何であるかを自然に吸収させていきます。

授業回数

教科	授業回数
算数	週 2 回
国語	週 2 回
理科	週 1 回
社会	週 1 回

※8月は夏期講習のため週回数が変わります。

実施テスト概要

▶ナビゲーション模試 前期5回・後期5回

▶隔週テスト 後期7回

実施模試	算数	国語	理科	社会
ナビゲーション模試	150 点（50 分）	150 点（50 分）	100 点（35 分）	100 点（35 分）
隔週テスト	150 点（40 分）	150 点（40 分）	100 点（25 分）	100 点（25 分）

カリキュラム	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
算数	●かけ算の意味 ●図形の性質と角度 ●わり算の意味 ●時間の計算 ●分数の意味 ●立方体と直方体	●わり算とあまり ●小数と十進法 ●線分図 ●面積	●線分図を使って解く ●整数の成り立ち ●割合分数と線分図 ●分数の成り立ち	●数直線を使って解く ●小数の成り立ち ●条件を整理して解く ●正方形と長方形 ●計算のきまり	●立方体と直方体 ●時間と単位の計算 ●図形に名前をつけよう！ ●表や図にまとめて解く ●式を使って解く		●整数・小数・分数 ●文章題 ●平面図形の面積 ●立方体と直方体 ●規則の発見	●規則をみつけて解く ●倍数と公倍数 ●規則を利用して解く ●約分と通分	●図形の性質と角度 ●ともなって変わる量 ●いろいろな平面図形 ●小数分数の関係	●立体を平面でとらえる ●差を集めて解く① ●数え上げの秘術 ●差を集めて解く②	●平面図形 ●和と差の文章題 ～線分図から面積図へ～ ●小数の計算 ●平均と面積図 ●数を分解してみよう ●多角形と角度
国語	●物語を味わう ●漢字の成り立ち・部首・筆順 ●説明文の読み方 ●熟語・ことわざ ●現代作家の作品を読む ●慣用句	●物語文 ●伝記 ●説明文 ●論説文	●いろんな文章を知ろう ●かなづかい・送りがな ●文章をかたまりでとらえよう ●漢字の音と訓	●段落を意識して筆者のいいたいことをつかもう ●部首・画数・筆順・漢和辞典 ●だれが、いつ、どこで、何をしたお話かな？ ●熟語の成り立ち	●登場人物はなぜ、どのように感じ、行動したのかな？ ●同類語・反対語・三字四字熟語 ●詩はふつうの文章と、こんなにちがう！ ●慣用句・ことわざ・和語		●説明文の読み方 ●物語文の読み方 ●詩の読み方 ●論説文の読み方 ●非日常的な物語文	●「事実」から「意見」へ ●かなづかい／送りがな 漢字の読み方／ 熟語の読み方 ●「問いかけ」から「結論」へ ●漢字 （部首・画数・筆順・漢和辞典）	●むかしのおはなし ●熟語 ●ふしぎなおはなし ●文のなりたち 主語・述語／文型	●外国のおはなし ●慣用句／ことわざ・語句の知識 ●ことばを味わおう ●敬語	●説明文 ●論説文 ●物語文 ●リズムのある表現 ●かなづかい・部首・筆順・音訓 ●知る・学ぶ ●熟語のまとめ
理科	●生き物の不思議 ●すがたを変える水 ●磁石と虫メガネ	●生き物に必要なもの ●私たちが食べるもの	●温度と熱 ●植物のくらし・四季の生物	●星空の観察 ●燃焼の条件	●動物のくらし ●ものの動き		●昆虫のからだとくらし ●燃焼の3条件 ●水溶液って何？ ●生物どうしのつながりと地球温暖化	●昆虫のくらし ●ものの溶けかた	●気象の観測 ●ものの重さをはかる	●虫メガネと音 ●環境と生物	●秋・冬の生物 ●冬の星座 ●水を凍らせると ●水は姿を変える ●流水のはたらき
社会	●九州・沖縄地方 ●中国・四国地方 ●近畿地方 ●中部地方 ●関東地方 ●東北・北海道地方	●食でめぐる日本（東日本編） ●食でめぐる日本（西日本編）	●生活の中の道具たち ●生活で使うモノはどこからくるの	●ゴミとの戦争 ●21世紀は水の世紀	●くらしをまもる ●地図を広げれば世界が広がる		●年中行事・祝日・祭り（春夏編） ●年中行事・祝日・祭り（秋冬編） ●モノでめぐる日本（東日本編） ●モノでめぐる日本（西日本編）	●大陸の玄関口（九州・沖縄） ●海の廊下（中国・四国）	●いにしえの都（近畿） ●日本のどまん中（中部）	●日本の心臓部（関東） ●北の国から（東北・北海道）	●五穀豊穣を願って ●野菜～産地から食卓へ ●果物のはなし ●海・川からの贈り物 ●お米と穀物の話 ●麦・豆・イモ・雑穀
	4年前期	春期講習	4年前期	4年前期	4年前期	4年前期	夏期講習	4年後期	4年後期	4年後期	4年後期	冬期講習

次学年学習スタート 2月～（5年前期）

小5生

「知」の枠の拡大とともに間違いの意味を自問する姿勢を身につける



学習のポイント

算数

「数の性質」「立体図形」「割合」などの入試頻出単元は、5年生の前期から学習が本格化します。線分図・面積図・情景図など必須の解法を習得させるとともに、算数で必須の考え方を身につけさせていきます。

国語

緊張感ある授業の中で集中して問題に挑戦し、試験で本領を発揮するための読解力を磨きます。○×のみにとらわれず、考え方の回路や未知への興味・関心を育てるための指導を行います。

理科

自然科学のとば口に誘う時期から、本格的な受験勉強へと移行する時期へ。生物・化学・物理・地学の4つの分野とも身近な事象を題材にしながらも「どうしてそうなるのか」という思考を核に、知識を把握する力と関連づける力を養います。

社会

地理・歴史という大きな分野の端境期にあたる5年生。授業では、社会を単なる暗記科目ととらえず、断片的になりがちな各分野の知識を意識的に融合、関連づけて、子どもたちの問題意識を掘りさげます。

授業回数

教科	授業回数
算数	週2回
国語	週2回
理科	週1回
社会	週1回

※8月は夏期講習のため週回数が変わります。

実施テスト概要

▶隔週テスト 前期9回・後期7回
▶ナビゲーション模試 前期5回・後期5回
▶日能研PRE合格判定テスト 後期1回

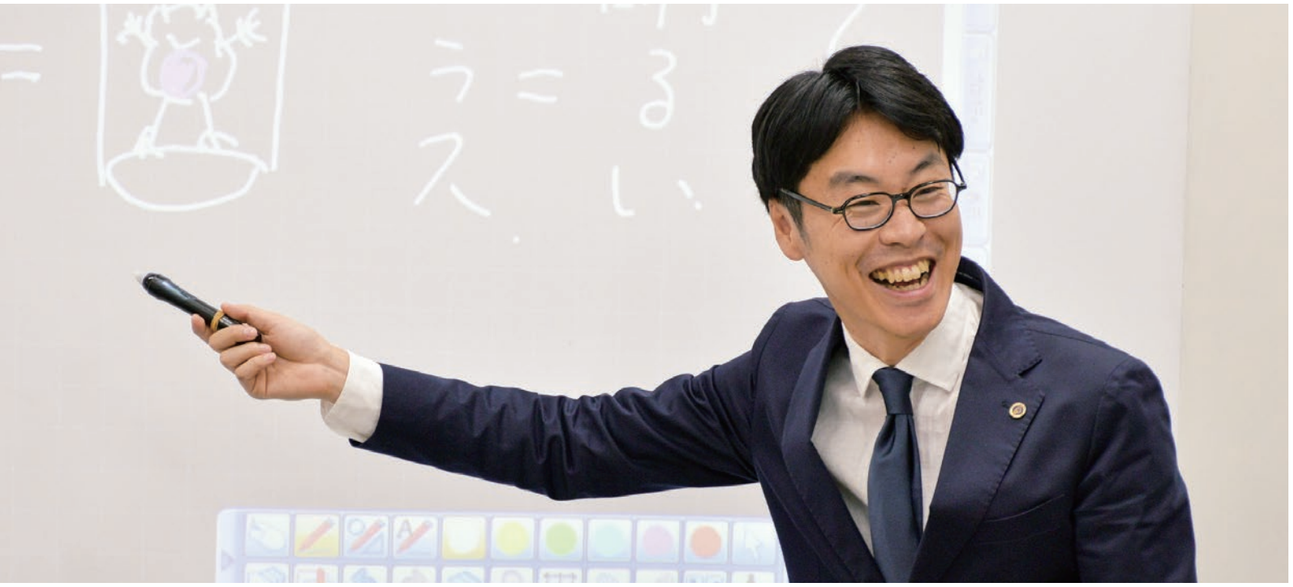
実施模試	算数	国語	理科	社会
隔週テスト	150点（40分）	150点（40分）	100点（25分）	100点（25分）
ナビゲーション模試	150点（50分）	150点（50分）	100点（35分）	100点（35分）
日能研PRE合格判定テスト	150点（50分）	150点（50分）	100点（30分）	100点（30分）

カリキュラム	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
算数	●分数の乗除 ●直線図形の面積 ●約数と公約数・素因数分解 ●表や図を使って解く	●平均と面積図 ●つるかめ算と差集め算 ●角度と面積 ●整数の性質 ●3.14の世界へようこそ	●円周率 ●円とおうぎ形 ●円柱と円錐 ●サイコロで遊ぼう	●水に関する問題 ●整数と周期性 ●素因数分解		●場合の数 ●場合分け ●後ろからさかのぼって解く	●円とおうぎ形 ●立体図形 ●数の性質 ●場合の数 ●割合と売買 ●速さ	●売買に関する問題 ●濃度に関する問題	●「速さ」に関する問題 ●情景図を使って解く ●進行グラフを使って解く ●速さのいろいろな文章題	●「割合」から「比」へ ●相当算と比 ●正比例と反比例 ●面積図から比へ		●速さ ●比 ●底辺比と面積比 ●底辺の比と面積の比 ●三角形の相似 ●直角三角形の相似
国語	●志す・こだわる ●慣用句・ことわざ ●なしとげる・のりこえる ●文の成り立ち・敬語	●人のココロって？ ●くらしへの視点 ●探究心を持つ	●生き物の不思議 ●漢字・かなの知識 ●自然を観察しよう ●熟語の知識	●男の子の気持ちって？ ●慣用句 ●コトバの神秘 ●ことわざ・和語		●オトメの気持ちって？ ●文法の知識 ●論理学コトハジメ ●敬語の知識	●論説 ●物語 ●随筆 ●韻文	●比喩のアレコレ ●漢字・かなの知識 ●外国の名作に親しもう ●熟語の知識	●「構造」って何だろう ●慣用句 ●「関係」を見直そう ●ことわざ・故事成語	●他人の気持ちって？？ ●敬語・文法 ●異文化の中の生活 ●品詞の知識		●入試頻出テーマの演習 ●悲しみ・哀しみを味わう ●韻文の知識 ●嫉妬・憧憬を味わう ●季節のことば
理科	●教養の気象学 ●電流のはたらき	●水は姿を変える ●電流のはたらき ●植物の進化	●植物のつくり ●熱はどうやって伝わるの？	●いろいろな道具のはたらき ●太陽の動き		●月の満ち欠け ●ものが燃えるってどういうこと？	●太陽・月・星の動き ●電流と電磁気 ●燃焼と水溶液	●いろいろな水溶液と化学反応 ●電流と電磁気	●地層と地球の歴史 ●星の動きと天球図	●植物の増え方と分類 ●ヒトの体の不思議		●気体と水溶液 ●動物・人体 ●光の進み方 ●物理総合・音と光の性質 ●生物総合・動物の分類と人体
社会	●お肉の話 ●日本の農業って魅力ある？ ●森・海の恵み	●日本の農林水産業 ●重化学工業と軽工業	●さまざまな工業 ●工業地帯	●工業地域 ●近代工業の歩み ●日本の工業は今 ●伝統を習う・使う		●日本の動脈（運輸・交通・通信・貿易） ●地球からの恵み	●地理編　地方別地理 ●歴史編　歴史上の有名な人物 ●統計資料編 日本の国土・人口・農林水産業・工業・貿易など	●旧石器～飛鳥時代 ●奈良～平安時代	●鎌倉～室町時代 ●安土・桃山～江戸時代(1)	●江戸時代(2) ●江戸時代(3)		●歴史総合 旧石器～江戸時代 ●明治時代(1)・(2) ●明治時代(3)
	5年前期	春期講習	5年前期				夏期講習	5年後期				冬期講習

次学年学習スタート　2月～（6年前期）

小6生

第一志望校合格に向けて「知識」の定着と「知」の体系化をはかる



学習のポイント

算数

5年次に導入された「比」の概念を駆使し、算数の世界を体系化することから始めます。その後、「数の性質」「規則性」などの重要テーマを学習。夏期講習以降は、これまでの総復習を進めるとともに各種の融合問題にも取り組み、入試での実戦力を養います。

国語

5年次からのスタイルは続行。前期はテーマ別演習を中心に基礎力の充実を、夏期講習は入試頻出文章の読解を中心に応用力の養成をはかります。後期は、記述問題中心の演習で、本番で大きく差をつけるための実戦力を養成します。

理科

入試に向けての実戦力を育てる指導へとシフトチェンジ。夏期講習以降は全分野の復習はもちろん、各種の融合問題でトレーニング。基本問題や入試で頻出する問題を集めたテキスト・プリント類を完璧にすることで、合格への道を確実にします。

社会

歴史の大詰め、かつ入試最頻出問題である「近現代史」の学習からスタート。公民分野にも入り、前期中に分野別学習を終了。夏期講習以降は総復習の時期。全分野の総仕上げ、知識の体系的整理と入試対応力アップを目指します。

授業回数

教科	授業回数
算数	週2回
国語	週2回
理科	週1回
社会	週1回

※8月は夏期講習のため週回数が変わります。

実施テスト概要

▶隔週テスト 前期9回・後期7回

▶ナビゲーション模試 前期5回・後期1回

▶小6合格判定模試 後期3回

▶日能研全国公開模試 後期3回

実施模試	算数	国語	理科	社会
隔週テスト（前期）	150点（40分）	150点（40分）	100点（25分）	100点（25分）
隔週テスト（後期）	150点（50分）	150点（50分）	100点（35分）	100点（35分）
ナビゲーション模試	150点（50分）	150点（50分）	100点（35分）	100点（35分）
小6合格判定模試	150点（50分）	150点（50分）	100点（35分）	100点（35分）
日能研全国公開模試	150点（50分）	150点（50分）	100点（35分）	100点（35分）

※上記実施模試につきましては変更になる場合があります。

カリキュラム	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
算数	●速さを比で解く ●速さと比の応用問題 ●仕事算とニュートン算	●比と相似のまとめ ●速さ	●文章題を式で解く ●比が変化する問題 ●割合の数を極める ●整数解を求める問題	●点が移動する問題 ●点の反射と移動範囲 ●図形の平行移動 ●図形の回転移動	●立体図形と比 ●規則性を極める ●数の性質を極める		●入試必須分野総まとめ ●弱点補強と入試問題演習	●平面図形 ●移動 ●数の性質 ●比 ●平面図形と比 ●速さ ●立体 ●割合		●グラフに関する問題 ●規則性 ●和と差に関する問題 ●場合の数 ●総合		●基本解法の徹底 ●全範囲の総まとめ ●入試問題演習
国語	●先人に学ぶ ●日本語の広がり ●評伝に垣間見る人生 ●文学史・脚本	●人生を味わう ●家族とは ●戦争と人間	●戦争と人間 ●二字熟語・同類語・反対語 ●家族とは ●三字熟語・四字熟語	●比較文化と日本 ●和語 ●貧乏を学びとる ●慣用句	●科学技術の光と影 ●ことわざ・故事成語 ●韻文（詩・短歌・俳句） ●文法（自立語・付属語）		●入試必須分野総まとめ ●弱点補強と入試問題演習	●七千字を超える長文 ●熟語の知識 ●説明文・まとめあげの技法 ●三字・四字熟語 ●随筆にこもる情感・情緒 ●和語・外来語 ●韻文（詩・短歌・俳句） ●慣用句・ことわざ・故事成語① ●気持ちのもつれあいを読み取る ●品詞／文の構造		●人の心ってわからないよね ●慣用句・ことわざ・故事成語② ●記述演習「上品な私を装う」 ●文学史・敬語 ●全総合		●速読演習 ●記述演習 ●入試問題演習
理科	●化学総合 ●地学総合	●気体と水溶液 ●電流と電磁気 ●太陽と月の動き ●化学計算	●てこのつりあい【植物の基礎】 ●輪軸とばね【動物・人体の基礎】	●電流と発熱【化学の基礎】 ●滑車と浮力【気象と地層の基礎】	●化学計算【天体の基礎】 ●動力学【音・光・電気の基礎】		●入試必須分野総まとめ ●弱点補強と入試問題演習	●化学総合 ●熱・音・光 ●力学総合 ●電流と地層		●天体・気象総合 ●動物・人体総合 ●植物総合 ●総合		●四分野のまとめ ●全範囲の総まとめ ●入試問題演習
社会	●大正時代 ●昭和時代（1）	●明治～昭和時代	●昭和時代（2） ●昭和時代（3）	●日本国憲法 ●国会・内閣・裁判所 ●地方自治	●選挙・政党・財政・社会保障 ●国際連合・現代の社会		●公民編 日本国憲法、国会・内閣・裁判所、貿易、南北問題など ●地歴編 地方別地理 地方別歴史 ●統計資料編 日本の国土・人口・農林水産業・工業・貿易など	●旧石器～平安時代 ●九州・中国・四国地方 ●鎌倉～安土・桃山時代 ●近畿・中部地方 ●江戸時代（1）・（2） ●関東・東北・北海道地方 ●江戸時代（3）～明治時代（2） ●日本国憲法 ●明治時代（3）～大正時代 ●国会・内閣・裁判所 ●昭和時代（1）～（2） ●地方自治・選挙・政党・財政・社会保障		●昭和時代（3）～現代 ●国際連合・環境問題 ●地図の見方・世界の国々 ●総合		●地方別地理 ●地方別歴史 ●時事問題 ●全範囲の総まとめ ●入試問題演習
	6年前期	春期講習	6年前期				夏期講習	6年後期				冬期講習

中学入試

啓明館の 特別プログラム



きちんとした学習姿勢を身につけ、志望校合格を確かなものとするための特別プログラムです。例えば、各期講習では休みの期間を利用して、十分な時間を確保し、集中的に取り組むことで、学力アップをはかります。

したがって、啓明館の特別プログラムは原則として在籍生全員参加です（一部申込制の講座もあります）。

各期講習　2〜6年生対象

春期講習は1〜3月、夏期講習は4〜7月、冬期講習は9〜12月に学習した重要単元の復習と、新学期に向けての導入授業を行う時期であり、本科コース通常授業のカリキュラムと連動しているため、原則として在籍生全員参加です。

通常授業よりも授業時間が長く、続けて通塾するため、規則正しい生活リズムとしっかりとした学習習慣を身につける上でも、とても大切なものです。

正月特訓　6年生対象

入試前、最後の集中特訓です。年末年始の慌しい時期こそ、勉強に集中できる環境を用意する必要があります。正月特訓が終わって10日もしないうちに、1人、2人…、と実戦の場へと赴く子どもたちに、1点の重みを徹底指導します。

算数パワーアップ道場　6年生対象

通常授業とは別に、徹底的に入試問題演習を重ねる時間を通年で確保し、解法知識を得点にしっかりとつなげる力を養います。単元別の時間と総合演習の時間の両方でハイレベルな合格答案作成力を養います。

「難関コース」を設置します

5・6年生のサマーセミナーおよび各種特訓には難関校を受験する生徒のための特別コースが男女それぞれ設置されます。各校の特色に合わせた内容で、奥深い指導を行います。

私立と併願で公立中高一貫校を目指すための対策・サポートも充実

公立中高一貫校志望の6年生には、適性検査対策として時期に応じて最適な模試や作文添削講座などをご案内します。私立中学受験学習を進めながら公立中高一貫校を目指せます。

サマーセミナー　5・6年生対象

夏期講習には、サマーセミナーも加わります。子どもたちが飛躍的に成長する「中学受験最大の山場」となります。いつもと違った環境で緊張感を持って学習したいという子どもたちにとって、大きな達成感を得る最大のチャンスです。ここでやりぬいた自信、また共に戦いぬいた仲間は、その後の受験勉強においても大きな支えとなります。



チャレンジ特訓（日曜特訓）　6年生対象

6年生の4月〜7月、1日6時間をこえる学習時間を確保して入試レベルのINPUT/OUTPUTを繰り返し実力を養成します。カリキュラム終盤の難度の高い学習のアシストを目指します。

合格サクセス特訓（日曜特訓）　6年生対象

夏期講習の総復習を終えた受験生の最後の単元チェックや答案作成力の向上を目指す特訓です。スクールの枠を越えた仲間たちと切磋琢磨する中で刺激を与えあい、競い合う中で正解に至る分析力・読解力・正確な計算処理力を磨きます。

算数基礎力サポート講座　5年生対象（申込制）

通常授業で新しく習う単元の導入から隔週テスト対策までサポートする講座です。基礎的な内容の理解度・定着度の向上をはかることで隔週テストの得点アップ、学習方法の確立にもつなげます。

記述・作文添削講座　5・6年生対象（申込制）

課題文章をもとにした記述問題、字数指定のある作文問題にチャレンジします。添削の専門家が丁寧なアドバイスを行います。

アタマの大運動会　2〜4年生対象

10月のスポーツの日に開催する、スクール対抗の「学びの運動会」です。啓明館スクールをオンラインでつなぎ、「計算大会」「モノ知りクイズ大会」「漢字部首」「MAKE10」など、さまざまな問題に挑戦しながら、部門ごとに競い合います。

保護者会 / 各期ガイダンス

指導方針をより深くご理解いただけるよう、定期的に開催しています。学習のポイント・ご家庭での子どもとの接し方、入試情報などについてお話しします。



啓明館主催学校説明会

志望校選びにおいて一番重要なのは、自ら学校に足を運び、学校の先生のお話をうかがい、わが子に向いているかどうかを感じ取ることです。しかし学校主催の説明会は参加者が多すぎて、じっくり見学することが難しいこともあります。

啓明館では啓明館の保護者だけを対象とした説明会を毎年開催しています。個別に質問したり、学校によっては啓明館出身の在校生から学校生活について話を聞くこともできます。わが子が通うイメージが湧いたと好評です。



主な実施校（2026年実績）

青山学院横浜英和・浅野・栄光学園・神奈川学園・神奈川大学附属・鎌倉学園・鎌倉女学院・関東学院・関東学院六浦・公文国際学園・サレジオ学院・自修館・湘南学園・湘南白百合学園・逗子開成・聖光学院・清泉女学院・青稜・洗足学園・捜真女学校・田園調布学園・藤嶺学園藤沢・日本大学藤沢・フェリス女学院・法政大学第二・聖園女学院・山手学院・横須賀学院・横浜共立学園・横浜女学院・横浜雙葉

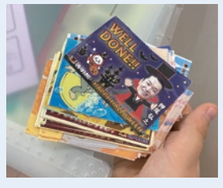
（2026年度開催校50音順）

教室の授業だけじゃない！啓明館ライフ

授業以外もさまざまな方法で
啓明館生の「塾時間」を楽しく！

コンプリートを目指せ！「ほめカ」

啓明館の生徒が集める、褒め褒めカード略して「ほめカ」。各教室の先生がマイほめカを作って、生徒の皆さんががんばったときにお渡ししています。全種類を集めた啓明館生も続々登場しています。





啓明館オリジナルキャラクター
ウサおこし

スペシャルほめカも
限定で登場するかも!?



啓明館の今や教室の様子を「ブログ」で

「啓明館公式ブログ」&在籍生限定公開「スクールブログ」

中学受験塾は、小学生を数年間お預かりする「成長の学び場」。日々の成長ぶりや教師の思いなど、定期的に保護者の方へ発信しています。スクールブログは在籍生限定公開。ぜひご覧ください。



「スクールブログ」の閲覧方法は
お通いのスクールよりご案内します

小1生~小6生

算数思考力育成講座

パズル道場DX

啓明館では、全スクールで小学１年生から通える能力開発講座「パズル道場DX」を開設しています。啓明館本科コースにお通いになる前に、また入学後にも併用して続けていただける豊かな学びの講座です。

小1から論理的思考、着眼、推理、分析能力、ねばり強さを育成します

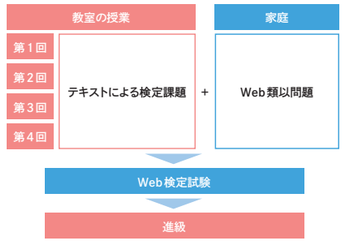
「覚える人」になる前に「考える人」になろう

パズル道場は、知識を習得させながら、センス（感覚）・思考力を同時に育成するプログラム。自分の頭の中で考えぬくことで算数力・思考力・ねばり強さをはぐくむ道場です。算数の学力はもちろんのこと、実生活でも有用な“将来伸びる力”を身につけます。長く続ければ続けるほど、より効果があります。



モチベーションを高める進級式プログラム

・進級式のプログラムです。「図形・思考力」と「数」の2つのカリキュラムがそれぞれ55段階に分かれています。
・教室では、テキスト・教具を使って授業を行います。
・家庭ではWeb類以問題で復習をして、Web検定試験を受けます。



検定カリキュラム

自宅のパソコン・タブレット・スマートフォンを使用し、「Web検定試験」に挑戦することができます。
結果はリアルタイムに分析され、表やグラフで示されるため、能力の現状把握が簡単にできます。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
40級～31級	30級～21級	20級～11級	10級～1級	初段～師範	EX1～名人

教室での授業のようす（週１回 60分）

1 理論訓示

パズル道場の合言葉「できなくても、考えた分だけ賢くなる」の意味や大切さを毎回の授業で説明します。

2 ベーシックトレーニング

頭のウォーミングアップと精神力を鍛えるカリキュラムです。
制限時間内に、速く正確に解くトレーニングを行うとともに、感覚（センス）や習慣を身につけていきます。

3 教室用検定課題

生徒の級に合わせたそれぞれの「図形・思考力」「数」のテキストに取り組みます。
級によって問題や難度が変化していきます。

4 個人型教具・対戦型教具

教具を実際に使って空間把握能力や仮説思考力（自分の作戦を考える）を鍛えていきます。



家庭での学習（タブレット・スマートフォン・PC）

・ID/パスワードでログインすると生徒個別のマイページが開きます。
①ゲーム感覚のWebプログラムで授業の復習。
②見るだけで能力が高まる映像で授業の補強。
③授業内容の詳細確認。
・Web検定試験に挑戦できます。
・パズルオリンピック、挑戦問題にも月に一度挑戦できます。

※すべてスマートフォンの場合の画面の一部です。タブレットやPCの場合はレイアウトが異なります。



パズル道場DX DIGITAL TRANSFORMATION

パズル道場で鍛えられる3つの思考力

仮説思考力
仮説と検証を繰り返す試行錯誤により自分の作戦を考える能力です。

空間思考力
空間認識能力ともいいます。目の前に無い物をイメージする能力です。

瞬間思考力
瞬間判断力ともいいます。この能力を身につけるには、必ず注意力育成とセットでなければなりません。

＋

算数のセンス育成

量感トレーニング
数を量としてイメージする分解・合成トレーニングです。

パズル道場生の声をご紹介

Q パズル道場でどんな力が身につきましたか。また中学受験においてどのように役立ちましたか？

N・Hさん
試行錯誤する力が身についたと思います。また、その力は難しい問題を色々な観点から見てみることに役立ちました。

S・Hさん
私はパズル道場で、自分で考え抜く力が身につきました。中学受験ではその力が、分からない問題があった時に役立ちました。なので、先生などにすぐ質問するのではなく、自分でもう一度考えることができました。

M・Hさん
頭の中で立体を組み立てやすくなった。立体問題の苦手意識がなくなった。

私立中学の難関校や公立中高一貫校の入試問題は、塾や学校で習ったことを応用して、自分の力で考え抜く力が試されます。パズル道場で、試行錯誤して自分なりの作戦や対策を考える力を鍛えて、受験を乗り越えましょう。

Keimeikan Quality 07

安心へのこだわり

家庭との連携・安全体制

「教え育てる」という責務を保護者と共有し実現するために、私たちにはほかにもできること・やるべきことがあります。それは、「子どもたちが安心して通える教育環境をつくる」ことです。

子ども・保護者・塾、三者一体となった調和が、価値のある受験と第一志望校合格を実現させる大きな鍵。

啓明館では、常に「子ども自身の今と未来」を最重要課題として、より良い対応のあり方、協力体制を構築することに力を注いでいます。単なる志望校合格で終わらない価値のある受験は、ここから生まれてくるのです。

安心・安全な通学を支える、啓明館のサポートシステム

▶サナネット（欠席連絡・メッセージ）

サナネットは、ご家庭のパソコンやスマートフォンからアクセスできる総合教育情報ネットワークです。通塾上の安全確認のため、遅刻・欠席の際は、事前にサナネットからご連絡をお願いします。ご連絡がない場合は、スクールから確認のお電話を差し上げます。また、欠席連絡だけでなく、教師への連絡やご相談もメールで行うことができます。ご家庭とスクールをつなぎ、日々の通塾をサポートします。

▶登下校メール

生徒が教場にある専用端末に二次元コードまたはICカードをかざすと、あらかじめご登録いただいた保護者の方のメールアドレスに、登校・下校をお知らせするメールが届きます。登下校をメールで確認できるので安心です。

▶防犯対策



啓明館の出入口には、監視カメラが設置されています。近隣警察署との連携をはかり、防犯対策に努めています。

子ども・保護者・塾の連携を維持する、参加型の教育体制

▶面談

学年が進むごとに、本当に意味のある受験に向けて保護者の悩みは深くなるのが一般的です。その悩み解決の処方箋を提示するのが個人面談です。受験パターンを決める6年生の場合、回数を定めずご相談の機会を設けております。



▶各種オンラインガイダンス

啓明館での学びをより深く理解し、ご家庭でも安心してサポートしていただけるよう、保護者の方を対象に、各学年で年に数回「オンラインガイダンス」を実施しています。時期に応じたテーマを取り上げ、各教科のカリキュラムや学習の進め方、学習スケジュールの立て方、ご家庭での向き合い方などを、教科責任者の教師が解説します。啓明館の指導方針を共有し、教師とご家庭が一緒になって、一人ひとりの学びと成長を支えます。

入学までの流れ

公開説明会
啓明館の指導方針や実際の授業の様子を伝えるために、保護者・生徒対象の公開説明会を開催しています。まずは公開説明会にご参加いただき、啓明館の息吹を感じとってください。

入学テスト
啓明館の指導方針をご理解いただき、啓明館への入学を希望される方には、入学テストを受けていただきます。テスト結果は3営業日以内にお知らせします。合格された方は、啓明館への入学資格が得られます。

契約会
合格した生徒の保護者を対象に、啓明館生としてのルール、授業までの準備について確認をするために、入学手続きとあわせてガイダンスを開催しています。所定の手続きを終えますと、啓明館本科生となります。

啓明館本科生としてスタート
目標に向かって努力すること、自分の可能性を信じ挑戦すること、友と励まし合いライバルと切磋琢磨することを通して、大きく成長しましょう。啓明館教師陣も全力で生徒たちを鍛え上げます。

お申し込み・お問い合わせ先
中萬学院・啓明館お問い合わせ窓口
045-840-1726
電話受付時間：
午前11時30分～午後7時30分
（日曜日を除く）

在籍生の皆様のホットライン

保護者の方からのご相談は
お通いのスクールまたは父母の声係
父母の声係 ☎ 045-840-1701

生徒の皆さんからのハラスメント等のご相談は
こころの相談窓口
cocoro@chuman.co.jp